

「いのち彩る里 飯南町」

いーなん



いーなんちょう
飯南町広報 平成26年3月20日 No.111

時代を越えて継承される

酒造りの技

極上の日本酒を仕込む
(赤名酒造)



時代を越えて継承される 酒造りの技

職人技が光る 仕込み作業

しびれるような1月の寒い朝、赤名酒造からもうもうと湯気が立ち上りました。それは、今年の日本酒の仕込みが始まつた合図。酒蔵の中では、極上の日本酒を作るための作業が進められていました。

湯気が立ち上っていたのは、日本酒の原料となる酒米を蒸す工程を行つていたため。蒸し時間は、蒸された米を手で餅状にひねりつぶす「ひねりもち」で杜氏が判断します。

そう語るのは、杜氏の仁井康富さん（上赤名です）。仁井さんは、若いころ東広島市西条の酒蔵で修業し、その後、赤名酒造で46年にわたり杜氏儀をしたもんだ」

「昔は、薪や石炭を燃料にしていたので火加減が難しくて難儀をしたもんだ」

と状況が変化する中での温度管理など、秒単位での作業精度が求められます。杜氏の的確な指示のもと、蔵人たちが連携して流れるよう作業を進めていく姿は、正に職人技です。

として日本酒造りに携わつてきました。

昔ながらの手作業で行われる日本酒の仕込みですが、刻々と状況が変化する中での温度管理など、秒単位での作業精度が求められます。杜氏の的確な指示のもと、蔵人たちが連携して流れるよう作業を進めていく姿は、正に職人技です。

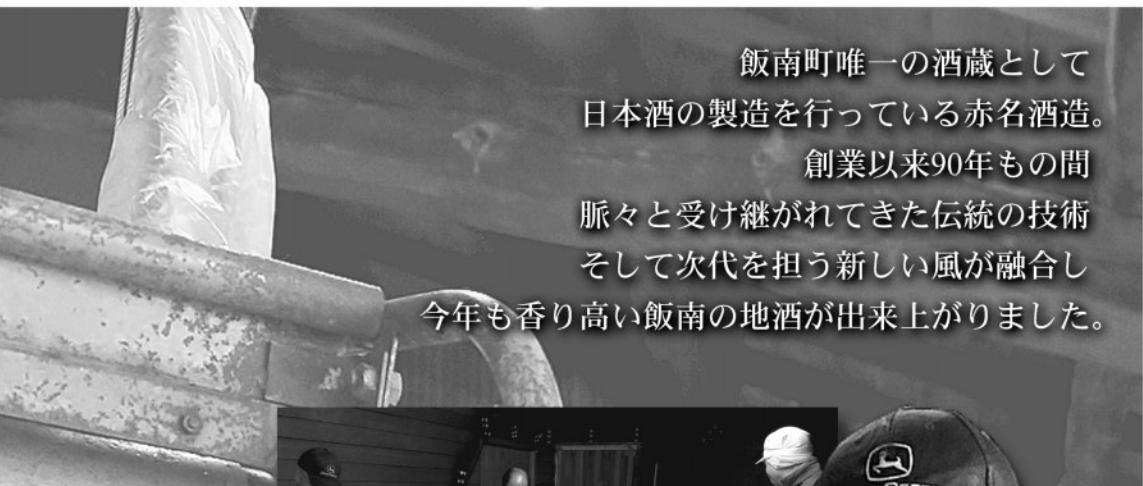
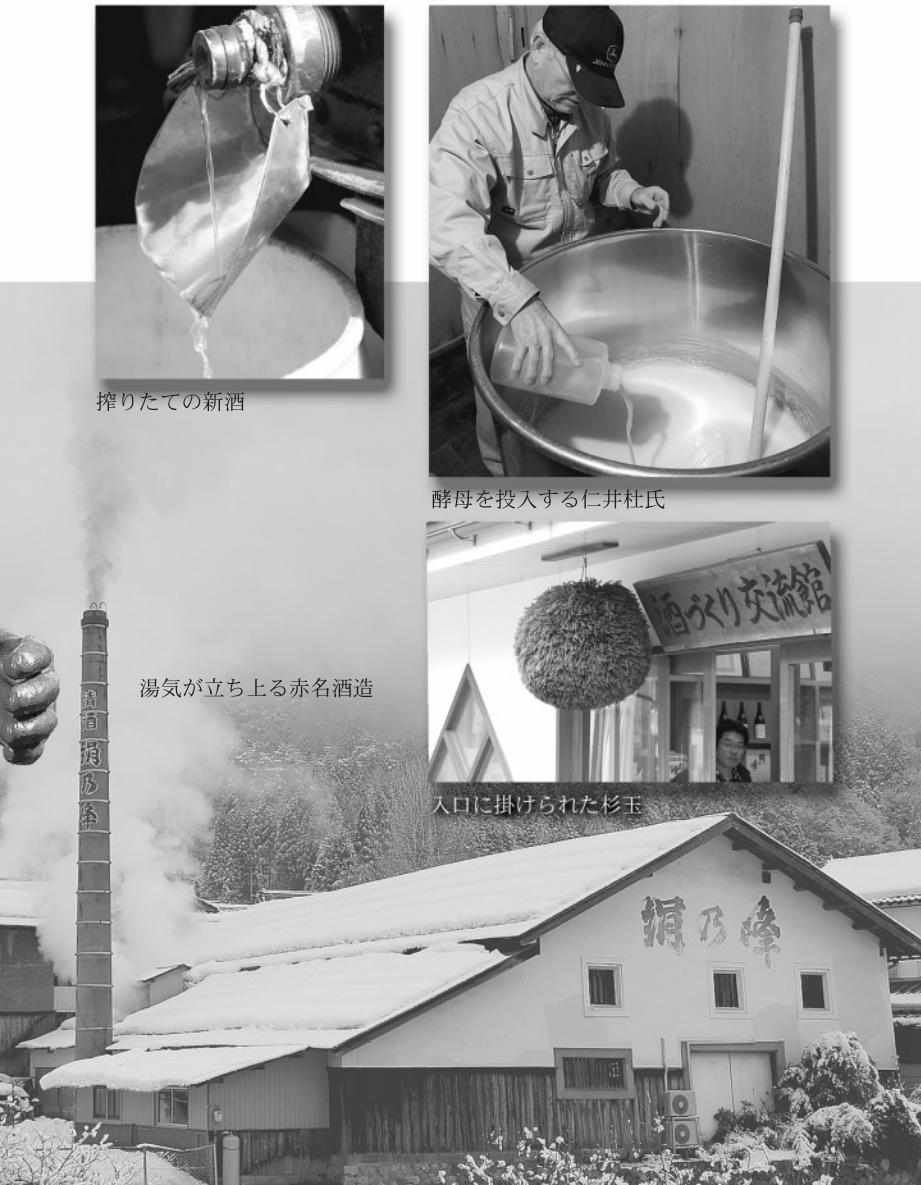
蔵出しの日、 新たなる門出の日

3月1日、毎年恒例の新酒発表会の日、赤名酒造の入口には、今年の新酒が出来上がったことを表す新しい杉玉が掛けられました。搾りたての新酒が味わえるとあって、町内外から100人を超える日本酒ファンが集まり、酒蔵は熱気に包まれました。

発表会の壇上では、長年、赤名酒造を支えてきた仁井杜氏が退き、今後は三島さんを中心とした体制で酒造りを行っていくことが発表されました。

仁井さんからは、「親を追い越せ」と言いますが、師を追い越せるように頑張つてほしい」という言葉が贈られ、三島さんは、「90年続く蔵を引き継いでいくのは大変な重責ですが、仁井杜氏を越せるように頑張つていきたい」という決意表明がありました。

時代を越えて受け継がれていく酒造り。伝統を継承しつつさらに進化した日本酒を味わえる日も近いかもしれません。



飯南町唯一の酒蔵として日本酒の製造を行っている赤名酒造。創業以来90年もの間脈々と受け継がれてきた伝統の技術そして次代を担う新しい風が融合し今年も香り高い飯南の地酒が出来上がりました。

「ひねりもち」をおこなう仁井杜氏



三島さんは、未来への熱い思いを語ってくれました。

※1 杜氏 日本酒の製造工程を管理する最高責任者

※2 蔵人 杜氏のもとで酒造りに携わる職人

広がる文化活動の輪 飯南町文化祭

2/15
土

ひと*いきいき



多くの作品が展示されました



幅広い年齢層の清吟堂吟友会



大正琴衣掛会の皆さん

第5回飯南町文化祭が、赤名農村環境改善センターで開催されました。この催しは、町内の文化団体などの発表の場として、飯南町文化協会が主催して開催しており、ステージ発表や作品の展示などが行われました。

清吟堂吟友会のステージ発表では、高校生から年配の方まで幅広い年齢層の方が詩吟を吟じ、趣味として楽しむだけでなく、裾野を広げる活動も積極的に行っておられるようでした。

厳寒の救助活動 人命救助に感謝状を贈呈

2/17
月



感謝状を受け取る皆さん

川に転落した女性を救助したといふことで、澤田勝登さん、小野覚さん、小野圭子さん、山下源教さん、吉岡ミチコさん(いずれも真木)の5名に、雲南警察署長より感謝状が贈られました。

救助活動を行った日は、水点下に冷え込んでおり、女性も怪我をしていましたといふことで、救助が遅れば大事に至るところでしたが、皆さんの活躍により尊い人命が救われました。

消防庁長官表彰 飯南町消防団からも受章

3/5
水

消防活動への貢献が特に顕著な者を表彰する「平成25年度消防長官表彰式」が、東京都のニッショーホールで行われました。

飯南町消防団からは、松田栄次団長が、消防思想の普及や災害の防御に関する対策などの成績が特に優秀な者に贈られる「功労章」を、深石賢一副団長が、永年勤続し他の模範と認められる者に贈られる「永年勤続功労章」を受章しました。

松田団長(写真右)と深石副団長(写真左)



観客と一緒に独楽回し



「家族でつくる人権標語」の表彰式が行われました

楽しい落語で人権を学ぶ 新ちゃんのお笑い人権高座

3/1
土



露の新治さんの楽しい高座

人権について考える「新ちゃんのお笑い人権高座」が、赤名農村環境改善センターで開催されました。おなじみとなつた露の新治さんによる人権高座は、難しくなりがちな人権の話を、笑いを交えながら楽しく考えができるのが特徴で、子どもから大人まで人権について分かりやすく学べる機会となりました。

このほか、独楽曲芸家の伏見龍水さんによる曲芸が行われ、来場者を巻き込んでの曲芸に会場は終始楽しい雰囲気に包まれていま



冬季山形国体 飯南町から多くの選手・役員が出場

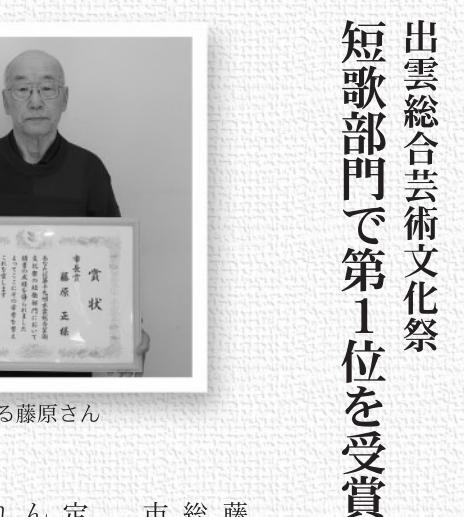
2/17
月

山形県で開催された「第69回民体育大会冬季大会スキー競技会」に、島根県代表として飯南町から出場した選手・役員の皆さんを、大会前に町長が激励しました。

この日は、兄弟でクロスカントリースキー選手、竜ノ介選手と、少年ジャンボイアントスマートの監督を務める和久利佳生さんが役場を訪れ、大会に向けての決意を述べました。



福間童ノ介さん(写真左)、福間壮一郎さん(写真中)、和久利佳生さん(写真右)



賞状を手にする藤原さん

藤原正さん(數波)の短歌が、「出雲総合芸術文化祭・短歌部門」で出雲市長賞(第1位)を受賞しました。藤原公民館短歌教室では、毎月定例会を開催して短歌の創作に励んでおり、日頃の活動の成果が表れての受賞となりました。

【受賞作品】
自分が影踏み行く妻の丸き背に黒き日傘をさしかけてやる

出雲総合芸術文化祭 短歌部門で第1位を受賞

頼原公館短歌教室に所属する藤原正さん(數波)の短歌が、「出雲総合芸術文化祭・短歌部門」で出雲市長賞(第1位)を受賞しました。

頼原公民館短歌教室では、毎月定例会を開催して短歌の創作に励んでおり、日頃の活動の成果が表

れての受賞となりました。

まちのスケジュール

2014年 平成26年 4月分

■教育 +健康・保健 ★文化・体育 ♡その他



日

3/ 30

月

3/ 31

火

1

水

2

木

3

金

4

土

5

■保育所入所式

6

7

8

9

10

11

12

■小中学校
着任式・始業式+ 子育て支援センター
「ほっと。Café」
(来島保健センター)■小中学校入学式
■飯南高校入学式■小学校陸上教室
+ 乳児健診
(保健福祉センター)■赤名小交通安全
パレード
(赤名連担地)■近隣中学校
バレー・ボール大会
(頓原中学校)♦ 空き缶等散在性
ごみ収集活動+ 子育て支援センター
「ほっと。Café」
(来島保健センター)

■ 来島小授業公開日

♦ 赤名岬国盗り
綱引き大会+ 子育て支援センター
「ほっと。Café」
(来島保健センター)■ 赤名小
授業公開日★ 谷間の楽校
「自然と遊ぼう」
(谷公・谷笑楽校周辺)■頓原小授業公開日
■志々小授業公開日+ 子育て支援センター
「ほっと。Café」
(来島保健センター)

し尿取り日

汲取り地区

汲取り日

頓 原

7日(月) 9日(水)

志々

2日(水) 4日(金)
19日(土) 22日(火)

来 島

11日(金) 14日(月)

資源物

収集地域

収集日

頓 原

16日(水)

赤 来

23日(水)

金属類・粗大物

収集地

ガラス類

頓原連担地

7日(月)

八神連担地

9日(水)

頓原・八神連担地以外

8日(火)

赤名連担地

14日(月)

来島連担地

3日(木)

赤名・来島連担地以外

2日(水)

〔頓原地域〕電話72・1401 〔赤来地域〕電話76・2441

※決められた日時をお守りください。

〔いいしクリーンセンター〕電話72・9217

●町の人口5,347人（前月比-17人） ●男性2,507人 ●女性2,840人 ●世帯数2,127戸 H26.3.1 現在

広報いーなん3月号

まち
小さな田舎からの「生命地域」宣言
いのち彩る里 飯南町